

生き物のにぎわいを支えるこれからの農業

～平成25年度環境にやさしい農業推進セミナー～

宮城県では食の安全安心や環境への負荷低減を目指し、環境保全型農業を推進しています。

一方、2010年に開催された生物多様性条約締結国会議では、2020年までに農林水産業が行われる地域が、生物多様性保全の確保に向け持続的に管理されることが目標として掲げられました。

このような中で、環境保全型農業の一つの目的である生物多様性の保全について、生産現場や地域社会におけるその意義や価値をあらためて考えてみます。

○日時 平成26年2月12日(水)

13:00～15:30(12:30受付開始)

○場所 せんだいメディアテーク7F スタジオシアター
仙台市青葉区春日町2-1 (裏面の「会場案内」参照)

○定員 150名 入場無料

(*定員になり次第、締め切らせていただきます。)

○内容

●講演1 (13:10～14:00)

「いのちがにぎわう農業が持続可能な社会をつくる」

名古屋大学大学院環境学研究科

教授 夏原 由博 氏

●講演2 (14:00～14:20)

「農業が育む生物多様性と世界農業遺産」

独)農研機構・農業環境技術研究所 生物多様性研究領域

主任研究員 楠本 良延 氏

～休憩～ (14:20～14:30)

●パネルディスカッション (14:30～15:30)

「生き物のにぎわいを支える農業の取り組み、そしてその意義とは？」

コーディネーター 城所 隆 氏(元宮城県古川農業試験場長)

パネラー ・夏原 由博 氏(名古屋大学教授)

・楠本 良延 氏(農業環境技術研究所主任研究員)

・菅原 時夫 氏(下刈敷地区環境保全活動組織代表、
「栗原市・めだかつこ米」の取組について)

・荒木 優子 氏(みやぎ生活協同組合地域代表理事、
田んぼの生きもの調査を通して感じること)

○申し込み方法▶▶ 平成26年2月5日(水)までに、裏面の申込書にてFAXまたは電子メール、電話でお申し込みください。

主催

宮城県、宮城県農業協同組合中央会、NPO法人環境保全米ネットワーク



申込書

➤ FAXの場合 **022-211-2849**
 (この用紙をそのままお使い下さい。)

F A X 送 信 票

宛 先：宮城県農林水産部農産園芸環境課 環境保全班 宮田あて
件 名：平成25年度環境にやさしい農業推進セミナー 「生き物のにぎわいを支えるこれからの農業」の出席者について
発信者： _____

出席者

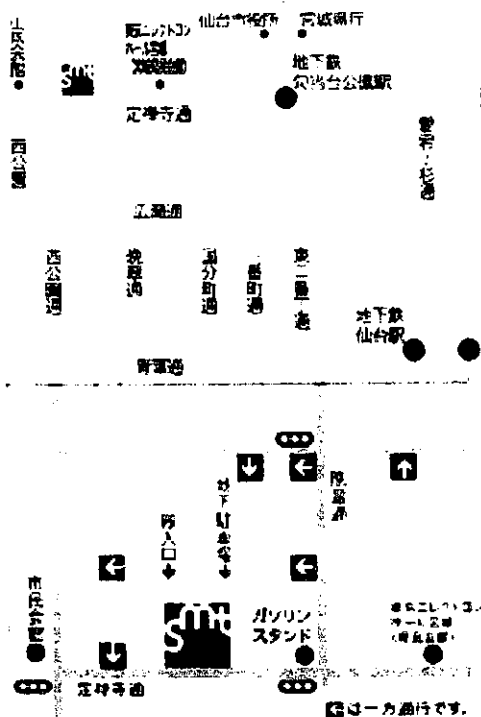
所 属	職 名	氏 名

* 記入欄が不足の際は、余白にご記入ください。

➤ 電話の場合 **022-211-2846**

➤ 電子メールの場合 **noenkan@pref.miyagi.jp**

..... 会場案内とアクセス



■住 所 〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1
 ■アクセス
 ・地下鉄 仙台駅から泉中央行きで3分、勾当台公園駅下車。
 「公園2」出口から徒歩6分(約450メートル)。
 ・バ ス 仙台市営バス 仙台駅前-29番(荘内銀行前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き(系統番号J410)で約10分、メディアテーク前下車。
 ・徒 歩 仙台駅より約20分(約1.8キロメートル)。
 ・タクシ- 仙台駅西口タクシー乗り場から約7分。
 ・車 東北自動車道仙台宮城ICから約10分(約5.3キロメートル)。

◆◆ お問い合わせ・申込先 ◆◆
 宮城県庁 農産園芸環境課 環境保全班 宮田
 TEL : 022-211-2846 FAX : 022-211-2849
 e-mail : noenkan@pref.miyagi.jp